

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公表番号】特表 2005-532607 (P2005-532607A)

【公表日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-042

【出願番号】特願 2003-558824 (P2003-558824)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 3/033 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/34 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 6 D

G 0 6 F 3/033 3 1 0 Y

G 0 9 G 5/00 5 1 0 H

G 0 9 G 5/00 5 1 0 Q

G 0 9 G 5/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 6 日 (2006.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザが選択可能な項目を表す順序付けられたリストをレンダリングするレンダリング装置と、

前記レンダリング装置上にレンダリングされた前記リストを介してスクロールする速度を制御する力感知ユーザインターフェースと、
を有していることを特徴とする消費者向け電子装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置において、前記レンダリング装置が視覚的表示器、オーディオ出力及び触覚フィードバックの少なくとも 1 つから選択されることを特徴とする装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の装置において、前記力感知インターフェースは、データアレイにおける順序付けられたリストから情報を検索するのを補助するユーザインターフェースに結合され、該ユーザインターフェースが、

前記力感知インターフェースのユーザによる操作に応答するアレイスクローラであって、該ユーザによる操作が前記力感知インターフェースに印加される力の大きさであり、前記アレイスクローラのスクロール速度が前記印加された力の大きさにより制御されるようなアレイスクローラと、

前記アレイスクローラのユーザによる継続する操作により起動される補助文字発生器であって、該補助文字発生器が、スクロールされている前記リストの一部を表す補助指示をレンダリングするように動作するような補助文字発生器と、
を有することを特徴とする装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の装置において、前記補助文字発生器が追加の補助文字の記録を条件付きでレンダリングすることを特徴とする装置。

【請求項 5】

データ処理環境において、データ処理装置を介してアクセス可能なデータアレイにおける順序付けられたリストを介してユーザがスクロールするのを可能にする方法において、前記ユーザが前記データ処理装置を力感知インターフェースを介して操作することに対応して、該ユーザが前記リストを介して所定の速度でスクロールするのを可能にするステップであって、前記所定の速度が前記力感知インターフェースに対して前記ユーザが発生させる力の大きさにより制御されるようなステップと、

スクロールされている前記リストの一部を表す補助文字を発生するステップと、を有していることを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の方法において、前記データ処理環境が分散された環境を有していることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の方法において、前記力感知インターフェースが、ジョグ/シャトルダイヤル、タッチパッド、製図タブレット、マウスのスクロールホイール及びジョイスティックの少なくとも 1 つを有していることを特徴とする方法。